

「とくしま未来創造プラン」の取組み ～徳島からの新たな挑戦～



平成24年2月
徳島県

1

1 新たな「行財政改革プラン」の策定

危機的な
財政状況

H15～「リフレッシュとくしまプラン」
H19～「とくしま未来創造プラン」

➔

持続可能な財政構造へ
一定の道筋

全庁一丸となった徹底した改革！


- ・聖域なき財政構造改革
- ・職員の大幅削減、組織改革
- ・新しい行政手法の展開など

「百年に一度の経済危機」の真っ只中に
「千年に一度の大震災」が発生
道半ばの財政構造改革の推進と、
直面する諸課題の解決を両立し、
国難の打破へ！

未曾有の「国難」

H23.11月
「とくしま未来創造プラン
～徳島からの新たな挑戦～」策定

- 130億円のさらなる収支改善(H25までに)
- 「3,000人体制」に向けた確かな組織力の確保
- 東海・東南海・南海「三連動」地震への万全の備え
- 経済成長戦略の展開
- 「真の地方分権型社会」の実現



2

2 プランの考え方

(1) 改革の目的

県行政が「誰のため」、「何のため」のものなのかという原点に立ち返り

◆改革の最大の目的は「**県民の夢や希望の実現**」

と定め、



(2) 基本理念

その実現に向け、

- ・「知恵は地方にこそあり！」
- ・「徳島こそが日本の羅針盤になるんだ！」との気概を持ち、

～「**新しい発想**」で
「**新しい次元の行財政運営**」に挑戦～

全庁を挙げた
「**新しい挑戦**」！

3

(3) 改革により目指す姿

◆確かな行財政基盤のもと、
「徳島ならではの」**「新たな行財政改革モデル〈徳島スタイル〉**」を
常に発信し、「日本の確かな羅針盤」として

「我が国をリードする政策発信拠点」

「**徳島スタイル**」の発信

(4) 改革に向けて

◆改革における「**3つの視点**」

「**既成概念からの超越に挑戦**」

「**スピード感をもって未来を先取**」

「**県民の皆様とともに創造**」

◆改革に向けた「**5つの重点項目**」

I「**未来志向の財政構造**」づくり

II「**夢を支える経営体**」づくり

III「**新しい公共サービスの仕組み**」づくり

IV「**県民目線の県政**」づくり

V「**活力みなぎる職場**」づくり

4

3 プランの取組み

いよいよ動き出した
「徳島からの新たな挑戦」

5

1 「未来志向の財政構造」づくり

(1) 新たな歳入確保の展開

○平成20年5月「歳入対策企画員室」設置

重点6項目

ふるさと納税

県税徴収率

広告事業

未収金対策

未利用財産

受益者負担の適正化

全庁を挙げた
歳入確保策の展開

歳入確保実績

H20～H22 約40億円

新たな知恵と工夫で
さらなる歳入確保！

平成23年度目標
「新たな視点」と5億円

・導入実績 **全国1位**の「ネーミングライツ」
新たに「神山森林公園」を追加し「9施設」に！
～売り上げの一部を充当！「県民参加型」の新発想で～



徳島県立神山森林公園
イルローザの森



ポテレット広場



マンマローザ広場

・庁舎空きスペースの有効活用 **貸付先決定！**

◎吉野川合同庁舎
(社福) 吉野川市社会福祉協議会
<年額 1,378千円>

◎南部総合県民局阿南庁舎
(社) 阿南青年会議所 <年額 240千円>



吉野川合同庁舎

2 「夢を支える経営体」づくり

(1) 「新しい人事・人材システム」の推進 ~3,000人体制に向けて~

H15~H22

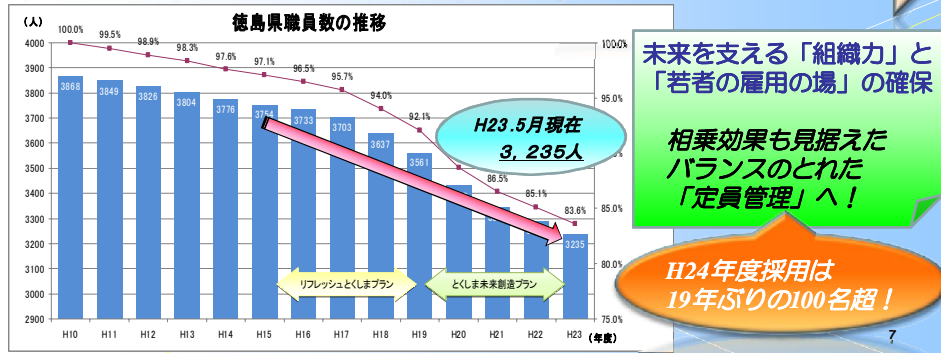
- ・「リフレッシュとくしまプラン」
- ・「とくしま未来創造プラン」

H23~

新たな挑戦のスタート

8年間で「▲519人の削減」

3,000人体制に向けて



(2) 「新時代に相応しい組織」の構築① ~新たな部の設置~

- 未だ道筋の見えない「東日本大震災からの復興」
- 歴史的な円高による「産業の空洞化」
- 「国からの権限移譲」

「国が動かないから地方が動けない」ではなく、地方自らが、この国を動かしていくことが必要！

「政策創造部」の創設

H23年度

企画総務部
(政策企画総局)

H24年度

新 政策創造部
新 経営戦略部

「ボトムアップ方式」で新体制を検討

名称、機能、組織案を職員から庁内公募

大胆な変革への挑戦に向け
職員一人ひとりが考え行動する組織へ

◆ 政策創造部の機能

- ①政策の企画立案・提言 ②広域行政・広域連携
- ③市町村や大学等「知の拠点」との連携 など

市町村との「総力体制」の構築 及び
県の枠を越えた「広域行政」の戦略的展開

三連動地震、関西広域連合、地方外交 等

「県民目線」の施策を国等に提案！



成果は迅速に住民サービスに反映

「課題先進地域」から「課題解決先進地域」へ

(2) 「新時代に相応しい組織」の構築② ～危機管理体制の充実強化～

◆被災地への支援職員派遣

関西広域連合で支援地を分担くカウンターパート方式
本県は宮城県に対してニーズに即した迅速な支援を展開

徳島県全体では (H23.3.11～H24.1.19)

人的支援実績 約2,300人(延べ人数)

機動的・能動的な被災地支援
+実体験に基づく
県組織の危機管理能力向上へ!



◆全国に先駆けた「地震・津波対策」の見直し

～「減災の視点」を追加～

「地震津波・減災対策・検討委員会」設置 (H23年4月)

想定外を視野に!

◆委員(16名): 学識経験者、防災関係機関

→「津波浸水予測」、「地震動被害想定」の検討・見直し

→「減災対策」の検討



対応時期を示した「工程表」提示
8/3「中間とりまとめ」(300の課題と対応策)

本県独自に迅速な提示!
12/21 独自の「津波高暫定値」を公表

全国初の「三連動地震」に備える!
県震災対策推進条例(仮称)の制定へ

できるものから
速やかに具現化!

①防災・減災対策

「助かる命を助ける」⇒速やかな避難

②被災者対策

被災者のQOL(生活の質)の向上

③産業対策・社会づくり

産業の再生・回復と
社会全体の防災力の向上

「被害想定」見直し
「条例制定」等
作業を加速!

◆原子力災害への備え

・7月 部局横断組織「原子力災害対策企画員室」を設置

・県民の不安解消のため「放射性物質モニタリング検査」を実施!

(2) 「新時代に相応しい組織」の構築③ ～相乗効果の発揮～

◆「安心の医療体制づくり」を加速!

県民医療の最後の砦

「新・中央病院」がいよいよ本年開院!
「総合メディカルゾーン」も本格稼働へ

新・中央病院イメージ



あわせて「ドクターヘリ」も
運行開始へ

新・三好病院イメージ



「高層棟改築事業」
昨年末「基本・実施設計」完了
平成26年度中の開院に向けて!



抜本的な津波対策へ
「移転改築」の
具体的な検討を開始
平成24年度 基本設計実施

◆「ハナミズキ・プロジェクト」結実!

「発達障害者総合支援ゾーン」

発表以来6年の歳月を経て、ついに花開く「ゾーン整備構想」
発達障害(児)者の支援施設を結集し、全国に先駆けた「支援拠点」を構築!

徳島赤十字ひのみね
総合療育センター

県立みなと高等学園



平成24年4月
オープン



徳島赤十字 乳児院

福祉

発達障害者総合支援センター
ハナミズキ

◇全国モデル

「県立みなと高等学園」

発達障害のある生徒の社会的・職業的
自立に向けた教育を担う特別支援学校
が開校!

◇中核施設

「発達障害者総合支援センター ハナミズキ」

「地域巡回相談」や「就労移行支援」
など大幅に支援拠点機能強化!

シナジー効果の発揮

(2) 「新時代に相応しい組織」の構築④ ～未来の徳島発展の礎～

◆「中小企業の総合的な応援拠点」の構築 中小企業振興に必要な機能を集約！

「中央テクノスクール（仮称）」を「徳島経済産業会館・KIZUNAプラザ」と一体整備
密接な連携のもと実践的な産業人材の確保！



◆徳島ならではの「地方外交」の展開 「とくしま・中国グローバル戦略」の推進！

- 7月 「関西広域連合・トッププロモーション」（北京市、上海市）
「とくしま経済飛躍サミットin上海」開催
 - 8月 「湖南省友好代表团」来県
 - 10月 湖南省との「双方向チャーター便」就航・「徳島県湖南省訪問団」派遣
「徳島県湖南省・友好交流団」派遣
・「定期チャーター便（1便/10日）」就航を合意
・日中両国の「国家外交行事」として「友好提携」を調印
 - 11月 「湖南省政府代表团」来県
- H24. 1. 23 定期チャーター便就航

「とくしま・中国グローバル戦略」ネクストステージへ！

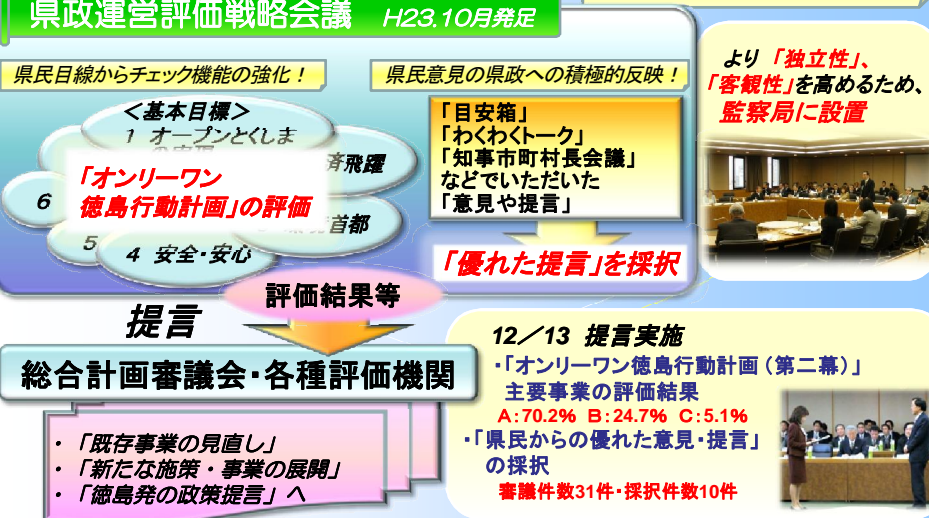
既存の友好交流の枠を超えた「地方外交」にチャレンジ＆チャージ！

3 「新しい公共サービスの仕組み」づくり

(1) 「新しい行政モデル」の展開① ～新たな事業評価システム～

～「新たな事業評価システム」の創造！～

政策、事業の評価部門を企画立案・推進部門から独立！



(1) 「新しい行政モデル」の展開② ～社会資本の新たな活用～

◆港にぎわい空間の創出

倉庫Ⅱ NPO法人アクアチッタ
水辺のコミュニティスペース「第二倉庫」創出事業

倉庫Ⅰ たほりつこ氏
アート窓処事業

万代中央ふ頭
にぎわいづくり協議会
水上バスの運航など

H23 実証実験を実施！
既存倉庫を活用し
飲食店・商業施設等として利用
～にぎわい空間の創出へ～

集客実績
約8,000人
(11月末時点)

利用検討箇所

(2) 「新しい公共」の推進 ～協働事業の推進～

◆「ゆめバンクとくしま」の創設 ～社会貢献活動の推進エンジン～

◎「ひと」や「もの」に関するコーディネート
◎資金助成に関するコーディネート
◎助成情報の提供・アドバイス
◎広報・啓発
◎寄附文化の醸成

H23.11月末時点

<人材情報>
人材募集 19件 人材提供 3件

<物品情報>
物品募集 2件 物品提供 11件

<寄付金情報>
寄付金 150,862円

9月1日
本格稼働

(3) 「地方の時代」に向けた連携強化① ～「関西広域連合」～

◆全国初！都道府県域を越える「関西広域連合」設立

1. 広域防災	4. 広域医療
2. 広域観光 ・文化振興	5. 広域環境保全
3. 広域産業振興	6. 広域職員研修
	7. 資格試験・免許等

国・出先機関の
丸ごと移管等
を積極的に
事務を拡充

フル参加！

関西広域連合設立
(H22.12.1 総務大臣許可)

◆「取組みと成果」「今後の展開」

設立後の取組みと成果

東日本大震災への支援

→3月13日(発災2日後)
「広域連合委員会」を
迅速に開催

→各構成府県が担当する
被災県を決めて支援する
「カウンターパート方式」
採用

広域医療【担当：徳島県】

- ◆「ドクターヘリ」の運航配置
- ◆「広域医療連携マニュアル」作成
→災害時の「行動計画」等策定
- ◆「救急医療人材等」を育成

「3次医療圏(府県単位)」
を越える
・新たな概念「4次医療圏・関西」
のづくりを推進！

今後の展開

文化振興 H24年度テーマ
<人形浄瑠璃>

- ◆「徳島発」の文化を関西共通の資源
として、全域で継承・発展へ！
国民文化祭・とくしま2012
「全国人形芝居フェスティバル」にて連携

権限移譲 国の出先機関
丸ごと移管へ

- ◆広域連合制度をベース
→「関西広域連合」を念頭に具体的検討
- ◆「ブロック単位」で権限移譲
→必ず含むべき都府県の区域を規定
- ◆当面は3機関を移管
→経産局・地方整備局・地方環境事務所

(3) 「地方の時代」に向けた連携強化② ～政策提言～

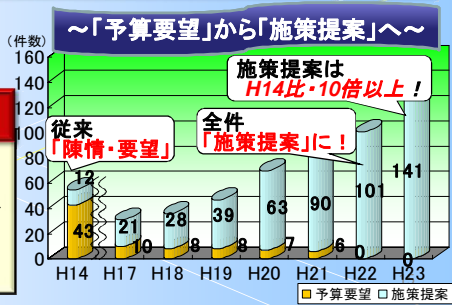
◆「徳島発の政策提言」

3本柱で「日本標準 (ジャパンスタンダード)」に!

- ① 「全国的な制度」を企画立案・国へ提言
 - 従来型の「陳情・要望」から脱却し「政策提言」へ
 - 「県民目線」・「地方の視点」に立った全国制度を創設
- ② 権限・財源を握る 国で制度化・予算化
 - 「机上の空論」に陥りがちな「霞が関」の発想に、「徳島ならではの」知恵と工夫を反映!
- ③ 最初の事業は 徳島に誘致
 - 新制度の「実証実験・モデル事業」では、「まず、徳島へ導入!」、事業効果を全国に発信!

政策提言のもたらす相乗効果～3アップ～

- 💡 地方分権社会を先取りする「自ら考える力」がUp↑
- 💡 地域間・「大競争時代」に向けた「情報発信力」がUp↑
- 💡 県民が真に欲する「県民目線の政策・事業」がUp↑



◆「徳島発の政策提言」② ～平成23年度の成果～

◆「三連動地震」に備える社会資本の整備

防災・減災機能など
道路の多様な効果を反映した事業評価方式の導入
～従来の3便益に防災機能が追加～

- 「にぎわい創出」はもちろん
- ・「災害時の救助・復興」
 - ・「救急医療施設への搬送時間短縮」など
- 「安全・安心」に不可欠な「命の道」の整備へ大きな弾み!

国直轄事業の全国防災枠創設(国3次補正)
～くらしを守る「安全安心対策」の強化～

- ・吉野川、那賀川等の地震津波対策が大きく進展!(約96億円)
- ・徳島小松島港沖洲ターミナル整備工事促進!(約36億円)
- ・鳴門市撫養港海岸防潮堤の耐震化促進!(約4億円) など



◆「地域医療」の再生を加速!
H21 地域医療再生計画(1期)策定<基金 50億円>
H23 地域医療再生計画(2期)策定<基金 約47億円>

「地域医療再生基金」の強化
～本県配分額約47億円～
(中四国・九州でトップ)

- ・「総合メディカルゾーン」の整備
 - ・「ドクターヘリ」導入に伴う救急搬送体制の強化
 - ・三好病院の改築・機能強化
 - ・海部病院の災害医療センター機能の整備
 - ・健康保健鳴門病院の公的存続支援
- などにより「県下全域の医療の最適化」へ!



(3) 「地方の時代」に向けた連携強化③ ～集落再生～

いわゆる「限界集落」の割合が全国平均を大きく上回る状況
～本県35.5%(全国平均15.5%)～

過疎化の進行

「とくしま集落再生プロジェクト検討委員会」設置

- ・「本県ならではの強み」
- ・「集落の潜在能力」

を活かした新しい視点からの集落再生を検討！

(H23年)

8月 現状・取組み、フリーディスカッション

10月 たたき台(案)

12月 プロジェクト(案)

(H24年)

1月 プロジェクト(最終案)

地域毎の実情に即した先進的な集落再生の成功事例を創出「とくしま発」のモデルとして発信！

～攻めの集落再生～
「とくしまサテライトオフィスプロジェクト」

全国屈指の「ブロードバンド環境」を活かし古民家など「空き家」を首都圏企業のサテライトオフィスとして展開！

◆実証実験
◎第1弾 9月 神山町など5箇所
◎第2弾
・10月 神山町・ヤマニハウス
・11月 美波町伊座利・イザリCafe

◆成果発表
・10月 東京都内
・11月 東京都内
＜テレビ会議でトップセールス＞
・12月 日本マイクロソフト社

◆サテライトオフィス体験ツアー
・12月 神山町など3箇所

「サテライトオフィス」
実証実験から本格展開へ！
3月 神山町に3社誘致予定！

H24年度
がんばる市町村
「とくしま地域創造戦略事業」創設！

4 「県民目線の県政」づくり

(1) 「県民参加の県政」の推進 ～県民意見の反映～

◆県民の皆様との双方向による新たな対話

宝の島・徳島「わくわくトーク」

知事が地域における先進的な活動の現場を訪問「地域の課題」や「これからの夢」など
膝を交えて意見交換！

<訪問実績>
6月 「那賀川こまちほか」
7月 「西の地防災きずな会」
8月 「名月座」
9月 「正法寺川を考える会」
11月 「徳島ユニバーサル研究会」
12月 「NPO法人こやだいら」
1月 「つるぎ町半田の地域おこしグループ」

知事と一緒にふれあいバス

知事が県民の皆様と**一緒にバスに乗り！**
県の「取組み」や「施設」等の見学・体験とあわせて意見交換

<実施状況>
7月 第1回 南部圏域
県南部の地震津波対策
11月 第2回 西部圏域
「にし阿波観光圏」の取組み
2月 第3回 東部圏域(予定)

◆県民の皆様からの提言を広く募集！ ・広くご提言を募集し、**県民目線で県政をチェック！**

とくしま 目安箱

- ・「県政運営評価戦略会議」の議論を通じて「優れたご提言」を採択！
- ・「県の施策や事業に反映」とともに「徳島発の政策提言」に！

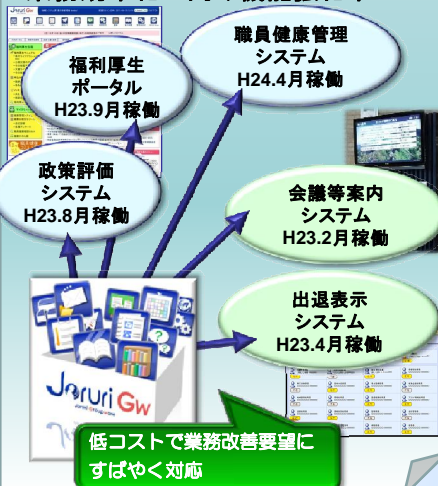
受案件数 546件 (H23.7.20～12.31)

徳島すざを活用

5 「活力みなぎる職場」づくり

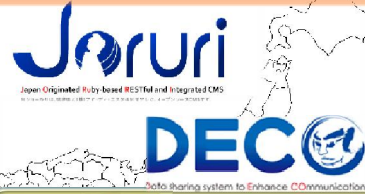
(1) 「新たな能力開発」の展開 ～オープンソースソフトウェア～

◆OSSで独自開発した
ジョールリ・グループウェア
 業務効率化に向け機能強化中！



◆開発したシステムを
OSSのジャパンスタードへ！

他の自治体等での採用件数
 H22:29件→H23:65件(12月現在)



H23. 11月
 「Joruri」、「DECO」などを
「自治体OSSキット」として
 パッケージ化！
 さらなる導入促進へ！

「facebook」
 で情報発信！

(2) 「意欲あふれる職場」の構築 ～「業務・職場改善取組」～

◆「職員提案」による「業務・職場改善取組」を強力推進！

H20年度から全庁的に「業務棚卸し」を実施
 →H22年度には「コンプライアンス推進取組」を追加
 →H23年度は「ひとり1改善運動」を展開！



「ボトムアップ」でワークスタイルの変革

◎H23年度実績

<業務改善>

- ・報告件数 514件
- ・削減時間 約3万9千時間
- ・削減経費 約27百万円

<コンプライアンス推進>

- ・報告件数 264件

<ひとり1改善>

- ・報告件数 2,337件

◆優れた取組みは表彰するとともに
 プレゼンテーション(事例発表会)を開催！

H23～
 ジョールリに
 動画を掲載し
 「成果の共有」
 を強化！



平成23年度 最優秀賞

業務改善部門

「中央病院及び
 海部病院の共通
 電子カルテシステム」



コンプライアンス推進部門



「工事現場における
 事故防止」



「県民の夢や希望の実現」に向けて

「とくしま未来創造プラン」
～徳島からの新たな挑戦～